



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 アテクト 上場取引所 東
 コード番号 4241 URL <https://www.atect.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小高 得央
 問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部次長 (氏名) 菅原 偉夫 (TEL) 0748-20-3400
 四半期報告書提出予定日 2021年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,093	△7.9	112	△10.4	87	△4.9	50	△43.6
2020年3月期第3四半期	2,273	1.8	125	△35.5	92	△47.9	89	△34.7

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 72百万円(△7.4%) 2020年3月期第3四半期 78百万円(△40.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	11.45	11.45
2020年3月期第3四半期	20.40	20.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,797	1,682	28.8
2020年3月期	5,338	1,626	30.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,670百万円 2020年3月期 1,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	△6.0	160	1.8	150	18.4	60	56.2	13.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	4,416,100株	2020年3月期	4,416,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	15,775株	2020年3月期	15,688株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	4,400,353株	2020年3月期3Q	4,383,029株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルスの影響により、第2四半期連結累計期間のグループ連結売上高は前年同期比で12.3%減、3事業全てにおいて減収となっておりますが、当第3四半期連結会計期間単独でのグループ連結業績は前年同期比1.5%の増収、79.7%の増益（営業利益）となりました。半導体資材事業においては、当第3四半期連結累計期間以降、コロナ感染拡大前の受注に回復し、第4四半期連結会計期間以降も前年を上回る受注を見込んでおります。衛生検査事業においては、食品衛生業界の産業構造が大きく変化する中で、内食・デリバリー及びテイクアウト需要の増加により、当第3四半期連結会計期間単独では、前年同期比2.9%の増収となり、本来、閑散期となる第4四半期連結会計期間の受注も前年を上回る予測となっております。一方でPIM事業については半導体設備や工作機械の世界的需要低迷が続いており、新規量産品として受注した高機能部品が想定を大きく下回り、第4四半期連結会計期間以降も不透明な状態です。

費用面については、販売管理費において当第3四半期連結累計期間で前年同期比11.8%減、114百万円の大幅な圧縮を行いました。

また、半導体資材・衛生検査器材の2大コア事業においては、当第3四半期連結累計期間以降は徐々に生産調整を解除しながらも、大幅な在庫圧縮と生産の効率化により、稼働日数を減らし、併せて間接部門における輪番制出勤体制を維持し、一時帰休による雇用調整助成金の申請を行いながら、通期の減産による利益の損失補填を継続しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,093百万円（前年同期比7.9%減）、営業利益112百万円（前年同期比10.4%減）、経常利益87百万円（4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50百万円（43.6%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

① PIM（パウダー・インジェクション・モールディング）事業

1) 高機能部品

長引く米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響により、半導体設備や工作機械の世界的需要低迷が続く中、直動型ベアリングをはじめとする高機能部品の受注回復には至っておりません。今後はやや回復の兆しはありますが、依然、先行きは不透明な状況です。

また、高機能部品においては下述の自動車部品試作イベントに注力すべく、積極的な新規受注案件獲得の為の営業活動を抑制しております。

2) 自動車部品：VG（Variable Geometry）ターボ部品

2021年10月の量産開始を目指すディーゼルVGターボ用部品の試作イベントについて、顧客である国内大手ターボメーカーの最終試験（高温耐久試験）に合格し、自動車メーカー最終承認試験に移行する予定でしたが、新型コロナウイルスの再拡大の影響により、現在予定していた試験開始が遅延するとの報告を受けております。量産開始の1年前に必要な『本金型・本設備』の発注指示は既に受領済みであり、新規設備の導入・立上げ、安定量産技術の確立、PPAP（生産部品承認プロセス）の承認活動は予定通り進め、量産開始決定後の生産体制を盤石なものにすべく活動して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は57百万円（前年同期比24.6%減）、営業利益18百万円（前年同期比22.8%減）となりました。

② 衛生検査器材事業

食品衛生業界の産業構造が大きく変化中、現在の短期的な市況は国策によるキャンペーンの中断等、内食・デリバリー及びテイクアウト需要の増加により、市販用食品が好調な一方、業務用食品が不調となっております。このような市場環境の中で当事業は、2020年5月から9月まで続いた前年割れから一転、10月以降は前年同期を上回る受注が継続し、当第3四半期連結会計期間単独での売上高は418百万円となり、四半期単位では過去最高となりました。例年閑散期となる第4四半期連結会計期間の1、2月の受注も更に前年を大きく上回る見込みとなっております。

原価面においては、シャーレ製品を中心に在庫圧縮と生産効率の改善により、一時帰休を積極的に実施し、キャッシュフロー重視を最優先しながら、当第3四半期連結会計期間単独での売上総利益は204百万円、前年同期比4.4%の増益となりました。目まぐるしく変化する市場環境において、ウイズコロナ・アフターコロナにおける産業構造の変化を短期的、中期的に注視しながら、柔軟な生産体制を構築すべく、社内体制を一層強化して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,154百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益46百万円（前年同期比6.5%増）となりました。

③ 半導体資材事業

長引く新型コロナウイルスにおける外出自粛は家庭内でのテレビ視聴時間を増やす結果となり、夏以降の液晶テレビの世界需要は堅調に推移し、第2四半期連結累計期間の売上高は16.8%の減収となっておりますが、当第3四半期連結会計期間単独での売上高は前年同期比1.9%増となり、第4四半期連結会計期間以降も前年同期を上回る需要を予測しております。2020年9月より日韓2拠点での生産調整は解除し、更に旺盛な需要に対応する為、今後は生産能力の増強を行って参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は881百万円（前年同期比11.0%減）、営業利益47百万円（前年同期比17.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ28.9%増の1,892百万円となりました。これは、「現金及び預金」が410百万円、「受取手形及び売掛金」が43百万円、「原材料及び貯蔵品」が56百万円増加する一方、「商品及び製品」が75百万円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.9%増の3,905百万円となりました。これは、設備投資により308百万円増加し、減価償却費により245百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ8.6%増の5,797百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ28.2%増の1,600百万円となりました。これは、「支払手形及び買掛金」が114百万円、「1年以内返済予定の長期借入金」が225百万円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2.1%増の2,514百万円となりました。これは、「リース債務」が77百万円増加したこと等によるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ10.9%増の4,115百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ3.4%増の1,682百万円となりました。これは、「利益剰余金」が37百万円増加したこと等によるものです。「為替換算調整勘定」は円安・韓国ウォン／台湾ドル高の影響により22百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月5日付けで通期の業績予想を修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	524,831	935,347
受取手形及び売掛金	422,402	465,771
商品及び製品	255,587	180,070
仕掛品	24,180	23,491
原材料及び貯蔵品	171,994	228,858
その他	69,709	59,432
貸倒引当金	△971	△955
流動資産合計	1,467,735	1,892,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,057,090	1,071,115
機械装置及び運搬具（純額）	684,028	677,321
土地	1,539,795	1,539,795
建設仮勘定	215,834	276,205
その他	162,918	119,724
有形固定資産合計	3,659,667	3,684,162
無形固定資産		
その他	92,402	109,845
無形固定資産合計	92,402	109,845
投資その他の資産		
投資有価証券	3,542	3,274
繰延税金資産	86,801	80,209
その他	29,343	29,183
貸倒引当金	△910	△958
投資その他の資産合計	118,777	111,709
固定資産合計	3,870,846	3,905,717
資産合計	5,338,581	5,797,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	359,052	473,835
1年内返済予定の長期借入金	657,878	883,415
リース債務	13,649	24,725
未払金	64,864	61,980
未払法人税等	13,004	6,354
賞与引当金	53,854	25,976
設備関係支払手形	28,730	24,473
その他	57,154	99,578
流動負債合計	1,248,189	1,600,339
固定負債		
長期借入金	2,402,109	2,373,987
リース債務	45,472	122,910
繰延税金負債	56	32
退職給付に係る負債	13,641	15,492
その他	2,148	2,333
固定負債合計	2,463,428	2,514,755
負債合計	3,711,617	4,115,094
純資産の部		
株主資本		
資本金	809,639	809,639
資本剰余金	729,639	729,639
利益剰余金	156,664	193,867
自己株式	△7,842	△7,924
株主資本合計	1,688,101	1,725,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,540	1,354
為替換算調整勘定	△78,683	△56,226
その他の包括利益累計額合計	△77,142	△54,871
新株予約権	16,005	12,287
純資産合計	1,626,964	1,682,639
負債純資産合計	5,338,581	5,797,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,273,102	2,093,618
売上原価	1,176,641	1,124,392
売上総利益	1,096,460	969,225
販売費及び一般管理費	970,763	856,541
営業利益	125,697	112,684
営業外収益		
受取利息	107	73
為替差益	-	4,145
受取賃貸料	239	178
助成金収入	600	442
その他	716	1,227
営業外収益合計	1,662	6,066
営業外費用		
支払利息	12,652	12,979
減価償却費	17,113	17,228
為替差損	2,735	-
その他	2,348	568
営業外費用合計	34,849	30,776
経常利益	92,509	87,975
特別利益		
固定資産売却益	531	-
新株予約権戻入益	19,436	7,062
保険差益	3,207	-
特別利益合計	23,175	7,062
特別損失		
固定資産売却損	-	213
固定資産除却損	1,056	27,515
減損損失	-	2,233
特別損失合計	1,056	29,962
税金等調整前四半期純利益	114,628	65,075
法人税等	25,210	14,670
四半期純利益	89,418	50,404
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	89,418	50,404

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	89,418	50,404
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	674	△186
為替換算調整勘定	△11,616	22,457
その他の包括利益合計	△10,941	22,271
四半期包括利益	78,476	72,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	78,476	72,676
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。